

2003年8月26日
東日本旅客鉄道株式会社
日本テレコム株式会社

「無線による、車内情報サービス実証実験」について

東日本旅客鉄道株式会社と日本テレコム株式会社は、電車内の中吊り広告部分に大型のデジタルモニタ(17インチ)を設置し、無線LANを用いたデジタル情報の配信・表示サービス実証実験を京浜東北線車内において、9月8日より開始します。

東日本旅客鉄道株式会社では、車内におけるお客様の利便性・快適性向上を目指しており、今回の実験を通して、更に快適な車内空間提供の実現を目指します。

日本テレコム株式会社は、本実験におけるシステム構築全般を担当し、今回の実験を次世代車内表示システム開発の第一ステップと位置づけて今後の開発を進めてまいります。

1. 実験期間

2003年9月8日より2005年3月下旬まで

2. 実験車両

京浜東北線 特定1編成内の2車両

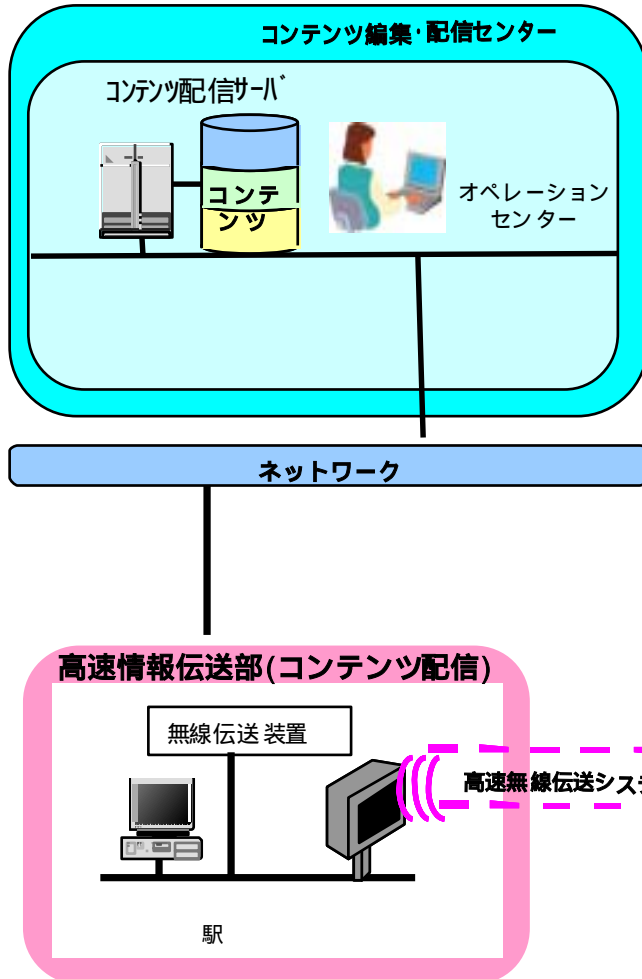
3. 実験内容

車内通路の吊り手棒に大型デジタルモニタ装置(表裏合計4面 装置全体の大きさは高さ25cm、横幅120cm奥行52cm)を1車両に3台ずつ、合計6台設置し、装置間を無線LANにてコンテンツ配信する実証実験を行います。

駅停車時に大量データを短時間で転送し、広告等のコンテンツをタイムリーに配信します。実験期間中に動画・静止画等のほか、フラッシュと呼ばれる現行の紙広告媒体の加工に適した半動的な機能を使いながら、コンテンツを随時増やしてまいります。

* 本サービスについては、二社が共同で特許出願中です。

車内情報サービスの京浜東北線共同実証実験 概念図と特徴



特徴1: 車両内ワイヤレスLAN

- ・車内を無線技術でコンテンツ配信

特徴2: 車両間ワイヤレスLAN

- ・車両間を無線技術でコンテンツ配信

特徴3: 車外から車内へ高速無線

- ・駅から大量データを短時間で転送可能

